

相撲節

奈良時代から平安末期まで行われた、天皇が宮中で相撲を観覧した華麗な儀式。現在の大相撲の原型となった。聖武天皇の天平6(734)年7月7日のころより宮中行事として定着したが、度重なる内乱により承安4(1174)年を最後に相撲節は廃絶した。



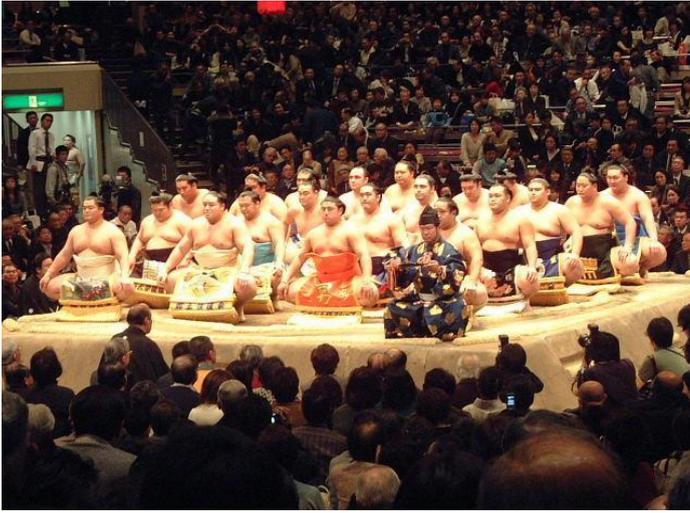
天覧相撲

相撲節は宮廷儀式であり、天覧相撲とは別ものと言えよう。明治天皇の天覧は慶応4(1868)年4月17日、大阪坐摩神社で京都力士の相撲が最初である。明治時代の天覧相撲は計8度。中でも明治17年3月10日、浜離宮延遠館で行われた大規模な天覧相撲は全国に新聞で報道され、衰退気味だった相撲人気復活のきっかけとなった。



昭和戦前の天覧相撲は芝水交社、九段借行社、宮城内履馬場などで11回行われた。昭和5年と6年に行われた天覧相撲では天覧相撲番付が作成され、「蒙御免」の位置に「賜天覧」と書かれていた。

昭和30年夏場所10日目、戦後初の天覧相撲。国技館の本場所で陛下が国民とともに観戦させるのは初めて。以来、昭和天皇の天覧相撲は40回を数える。平成天皇は22回。



御前掛かり土俵入り

天皇賜盃

高さ107センチ、重さ29キロ。賜盃には優勝力士の栄誉を称え、四股名を刻印した銀製の名札がつけられ、札の数が80枚になると古いものから取り外す。優勝力士には銀製のレプリカが与えられる。

大正14(1925)年4月29日、摂政宮の誕生日を祝賀する台覧相撲が赤坂の東宮御所で行われ、その御下賜金で摂政宮賜盃(のちの天皇賜盃)を作製。協会はこれを本場所の優勝者に授与することを決定。関東大震災による財政難に陥っていた東京の相撲協会は苦境を脱するため、これを機に皇室との関係強化を画策した結果、同年12月、財団法人大日本相撲協会の設立が認可された。

大正15年1月春場所優勝の横綱常ノ花に初めて授与されたが、菊の紋章が御紋章取締規則に抵触したことで“お蔵入り”に。常ノ花には小型模盃が渡された。また、御下賜金による優勝盃の栄誉を東京の相撲協会だけで独占すべきではないという気運がかねてからあり昭和2年1月、大阪協会との合併が実現し、大日本大角力協会が発足した。昭和3年1月春場所優勝の大関常陸岩から菊花の大銀盃が授与された。

昭和天皇が初めて蔵前国技館で相撲を観戦された際に詠んだ句
「ひさしくも みざりしすまひ(相撲) ひとびとと てをたたきつつ みるがたのしさ」
現在は両国国技館正面入り口脇に記念碑がある。

団体名	下賜された年月日	授与される対象
公益財団法人日本サッカー協会	天皇杯：1948年（昭和23年）7月 皇后杯：2012年（平成24年）10月24日	天皇杯：天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会の優勝チーム 皇后杯：皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会の優勝チーム
公益財団法人日本スポーツ協会	天皇杯：1948年（昭和23年） 皇后杯：1948年（昭和23年）	天皇杯：国民体育大会の冬夏秋の全大会を通じて男女総合成績第1位の都道府県 皇后杯：同女子総合成績1位の都道府県
公益財団法人日本バレーボール協会	天皇杯：1950年（昭和25年） 皇后杯：1950年（昭和25年）	天皇杯：全日本バレーボール選手権大会男子優勝チーム 皇后杯：同女子優勝チーム
公益財団法人全日本柔道連盟	1952年（昭和27年）	天皇盃：全日本柔道選手権大会優勝者 皇后盃：皇后盃全日本女子柔道選手権大会優勝者
公益財団法人全日本剣道連盟	天皇盃：1958年（昭和33年）7月28日 皇后盃：1997年（平成9年）	天皇盃：全日本剣道選手権大会優勝者 皇后盃：全日本女子剣道選手権大会優勝者
公益財団法人全日本弓道連盟	天皇盃：1960年（昭和35年）11月11日 皇后盃：1997年（平成9年）	天皇盃：全日本弓道選手権大会男子優勝者 皇后盃：同女子優勝者
公益財団法人日本卓球協会	1948年（昭和23年）	天皇杯：全日本卓球選手権大会男子シングルス優勝者 皇后杯：同女子シングルス優勝者
公益財団法人日本ソフトテニス連盟	1948年（昭和23年）	天皇賜杯：全日本ソフトテニス選手権大会男子の部優勝者 皇后賜杯：同女子の部優勝者
一般社団法人日本車いすテニス協会	天皇盃・皇后盃：2018年（平成30年）3月	天皇杯：飯塚国際車いすテニス大会男子シングルス優勝者 皇后杯：同女子シングルス優勝者
公益財団法人日本バスケットボール協会	1948年（昭和23年）	天皇杯：天皇杯全日本バスケットボール選手権大会優勝チーム 皇后杯：皇后杯全日本バスケットボール選手権大会優勝チーム
一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	天皇盃・皇后盃：2018年（平成30年）3月	天皇杯：日本車いすバスケットボール選手権大会優勝チーム 皇后杯：日本女子車いすバスケットボール選手権大会優勝チーム
公益財団法人日本陸上競技連盟	天皇盃・皇后盃：2009年（平成21年）8月4日	天皇盃：天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会優勝チーム 皇后盃：皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会優勝チーム
公益財団法人全日本空手道連盟	天皇盃・皇后盃：2016年（平成28年）5月17日	天皇盃：全日本空手道選手権大会男子個人組手優勝者 皇后盃：同女子個人組手優勝者

天皇杯（盃）のみ

団体名	下賜された年月日	授与される対象
公益財団法人日本相撲協会	1925年（大正14年） ^[注釈 4]	大相撲本場所における幕内最高優勝者
一般財団法人東京六大学野球連盟	1946年（昭和21年）	東京六大学野球リーグ戦の優勝チーム
日本中央競馬会	1947年（昭和22年） ^[注釈 5] ^[注釈 6]	天皇賞優勝馬の馬主 ^[注釈 7]
公益財団法人全日本軟式野球連盟	1948年（昭和23年）	天皇賜杯全日本軟式野球大会の優勝チーム
公益財団法人日本相撲連盟	1966年（昭和41年）	全日本相撲選手権大会優勝者
公益社団法人日本学生陸上競技連合	1947年（昭和22年）	日本学生陸上競技対校選手権大会の男子総合優勝校
公益財団法人日本水泳連盟	1947年（昭和22年）	日本学生選手権水泳競技大会の男子選手権獲得校
公益財団法人日本体操協会	1977年（昭和52年）	全日本体操競技選手権大会の男子個人総合優勝者
公益財団法人日本テニス協会	1947年（昭和22年）	全日本テニス選手権の男子シングルス優勝者
公益財団法人日本レスリング協会	1977年（昭和52年）	全日本レスリング選手権大会の優勝者の中の最優秀選手
公益財団法人全日本スキー連盟	1951年（昭和26年）	全日本スキー選手権大会ノルディックスキー・距離男子リレーの優勝チーム
公益財団法人日本パラスポーツ協会	2018年（平成30年）3月	全国車いす駅伝競走大会の優勝チーム

昭和天皇と大相撲

- ・ 1909 (明治42) 年6月9日 迪宮皇孫殿下 (のちの昭和天皇)、初の大相撲御観戦 (旧両国国技館開館)
- ・ 1910 (明治43) 年6月6日 2度目の大相撲御観戦
- ・ 1912 (明治45) 年5月19日 大相撲御観戦
- ・ 1914 (大正3) 年5月 学習院初等科卒業後、東宮御所の御学問所で学ぶ
- ・ 1917 (大正6) 年4月29日 数え17歳の御誕生日に台覧相撲
- ・ 1925 (大正14) 年4月29日 赤坂の東宮御所で台覧相撲。御下賜金で賜盃作製を決定
大阪相撲にも呼びかけ
- ・ 1925 (大正14) 年11月14日 東京と大阪の合併に向け、合同番付作成のための力量審査第1回前半が京都で行われた
- ・ 1925 (大正14) 年12月28日 財団法人大日本相撲協会が文部省から認可される
- ・ 1926 (大正15) 年1月春場所 横綱常ノ花が優勝も賜盃の菊の紋章が御紋章取締規則に抵触。模盃が授与される
- ・ 1926 (大正15) 年3月 大阪で力量審査第1回後半、10月に大阪で第2回開催
- ・ 1927 (昭和2) 年1月春場所 東西両協会が合併した最初の本場所。優勝は大関常陸岩
- ・ 1931 (昭和6) 年4月29日 この日の天覧相撲を契機に土俵が13尺から15尺へ。二重土俵から一重土俵になる。土俵屋根は入母屋造から伊勢神宮を模した神明造へ。前年は四本柱を背に座っていた勝負検査役が土俵下に降りて4人から5人体制に
- ・ 1937 (昭和12) 年5月27日 戦前最後の天覧相撲が芝水交社で行われる
- ・ 1955 (昭和30) 年5月24日 夏場所10日目、戦後初の天覧相撲
「ひさしくも 見ざりしすまひ 人びとと
手をたたきつつ 見るがたのしさ」
- ・ 1987 (昭和62) 年5月16日 夏場所7日目、最後の天覧相撲。戦後40回目